

2024 年 9 月 13 日

報道関係者各位

東京ミッドタウンマネジメント株式会社

**若手アーティストの成長支援と日本橋に新たな賑わいを創出する期間限定プロジェクト
「ソノ アイダ # TOKYO MIDTOWN AWARD」
第 5 期参加アーティスト決定！**

東京ミッドタウンマネジメント株式会社(所在：東京都港区、代表取締役社長：藤井拓也、以下「東京ミッドタウン」)は、2024 年 2 月 10 日（土）より、若手アーティストに制作および発表の場を提供し、その成長支援とアートを紹介した街の新たな賑わいを創出するプロジェクト「ソノ アイダ # TOKYO MIDTOWN AWARD」(以下「本プロジェクト」)を実施しています。

本プロジェクトは、2025 年 1 月 26 日（日）までの期間を 2 カ月ごと 6 期に分け、各期 2 組、計 12 組のアーティストを選出。選出されたアーティストは「日本橋室町 162 ビル」に滞在し、制作や作品展示、交流会などを通し、街を歩く人たちとの相互作用に期待した活動を行い、それぞれの会期の終わりには成果展を実施いたします。

この度、第 5 期のアーティストが山上渡氏、角文平氏の 2 組に決定し、10 月 5 日（土）より制作を開始いたしますのでお知らせいたします。



▲「ソノ アイダ # TOKYO MIDTOWN AWARD」
日本橋室町 162 ビル外観



▲第 5 期参加アーティスト山上渡氏（左）、角文平氏（右）と作品

「ソノ アイダ # TOKYO MIDTOWN AWARD」 第 5 期概要

【期間】2024 年 10 月 5 日（土）～12 月 1 日（日）12：00～19：00 ※月火祝は休館

【参加アーティスト】山上渡、角文平

【アーティストスタジオ】2024 年 10 月 5 日（土）～11 月 15 日（金）

【成果展】2024 年 11 月 16 日（土）～12 月 1 日（日） ※11 月 15 日（金）に内覧会を行います。

【クロージングトーク】2024 年 11 月 29 日（金）

本件取材に関する報道関係の方のお問い合わせ先 / 東京ミッドタウン PR 担当

田口、田中、横田、高道 MAIL：tm-pr@tokyo-midtown.co.jp（東京ミッドタウンマネジメント株式会社）
高木、田代、富谷、小笠原 MAIL：midtown_pr@prap.co.jp（株式会社プラップジャパン）

「ソノ アイダ#TOKYO MIDTOWN AWARD」第5期参加アーティスト

山上渡（やまかみ・わたる） * Tokyo Midtown Award 2013 アートコンペ準グランプリ受賞者 *



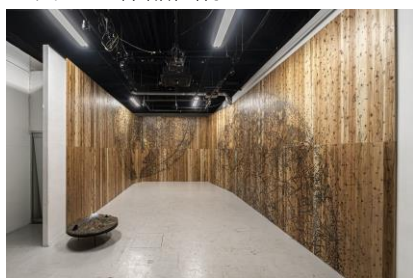
©Yohei Yamakami

1981 年高知生まれ。「増殖と変容」「境界の接続」「接続点の探求」をテーマに、この問いに満ちた世界との関係性を作品にしている。2009 年第 12 回岡本太郎現代芸術賞特別賞、2013 年 Tokyo Midtown Award 準グランプリ、オーディエンス賞受賞。2019 年には文化庁新進芸術家海外研修員としてインドネシア、ジョグジャカルタに滞在。

<山上氏コメント>

人間とは何であろうか？それらが作り出した社会の形態とは何であろうか？この世界の向かう先には何があるのだろうか？都市を見ていると多くの疑問が湧いてくる。そして都市はある種の生命体のように見紛う。私は今回いただいた機会によって<東京>という生命体の最中心部に探査の旅に出る。わずか2ヶ月、されど2ヶ月。これは都市という生命体を探る旅である。

<山上氏作品画像>



《TOKYO MAZE》
©Yohei Yamakami



《セカイノセカイ - 風をあつめて、そらにはなつ / World of the world-Gathering wind, to send off into the sky》
©Yohei Yamakami



《セカイノセカイ スクリーン / World of the world : Screen》
©Yohei Yamakami

角 文平（かど・ぶんぺい） * Tokyo Midtown Award 2012 アートコンペ入選者 *



撮影：yoshikahorita

1978 年福井生まれ。現在は東京を中心にアジアでも活動をする日本人のアーティスト。角の作品の本質は日常の再発見である。角はいつも生活の中に在りふれたものをパズルのように組み合わせることで、本来の機能や内容をずらし、新たな意味を生じさせようとする。角が作り上げる作品は 時折、現代社会においての闇ともとれる重めのテーマを取り扱うが、そのとらえ方は分析的で常に明るくユニークである。その姿は一見すると玩具のように見えるポップさや、老若男女が理解しうる日常的な姿でうまく表現されている。

<角氏コメント>

日本橋という土地や、室町 162 ビルという建物など、その場所でしかできないような作品が制作発表できればよいと思っています。また公開制作ということなので、作っている行為自体も訪れた方に楽しんでいただけたらと思います。

<角氏作品画像>



《Floating Islands #04》
撮影：野口浩史
提供：アートフロントギャラリー



《宇宙の箱舟》
撮影：野口浩史
提供：アートフロントギャラリー



《Monkey trail》
撮影：木暮伸也

「ソノ アイダ # TOKYO MIDTOWN AWARD」概要

- 【所在地】 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-6-2 日本橋室町 162 ビル 1F
- 【開催期間】 2024 年 2 月 10 日（土）～2025 年 1 月 26 日（日）（予定）
- 【営業日時】 毎週水曜日～日曜日 12：00～19：00
- 【定休日】 毎週月曜日、火曜日、祝日
※その他展示替えの際などに休館する場合がございます。
- 【主催】 東京ミッドタウン
- 【共催】 三井不動産株式会社、一般社団法人日本橋室町エリアマネジメント、ソノ アイダ
- 【機材協力】 DEWALT
- 【協賛】 Brooklyn Brewery
- 【販売協力】 株式会社 ayatsumugi

※参考 プレスリリース <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000279.000027065.html>

TOKYO MIDTOWN AWARD について

東京ミッドタウンが“「JAPAN VALUE（新しい日本の価値・感性・才能）」を創造・結集し、世界に発信し続ける街”をコンセプトに、次世代を担うデザイナーやアーティストの発掘・支援、その先のコラボレーションを目的としてデザインとアートの2部門で開催するコンペティション。

16 年間の実施で、応募者数延べ 23,996 組の中から、デザインコンペでは、139 組・241 名（延べ 145 組・261 名）、アートコンペでは、87 組・92 名の受賞者・入選者を輩出。受賞作品だけではなく、アイデアや作品を生み出すことのできる「人」にフォーカスするアワードへの進化を目指しています。更に、これまで以上に受賞後支援も拡充し、受賞者・入選者の成長を継続的に支援するとともに、コラボレーションの機会を創出していくことに努めます。



ソノ アイダについて

「ソノ アイダ」は、空き物件・解体予定建物などの都市の隙間を空間メディアとして活用するアートプロジェクトです。アーティスト藤元明（ふじもと・あきら）を中心に 2015 年から、東京都内複数箇所での実施を通して、大小様々な空間的・時間的隙間＝“その間”を見出し、様々な試みやアーティストたちの活動の場を生み出してきました。 <ウェブサイト> www.sonoaida.jp

ソノ アイダ

■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

また、2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ＆インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】・「グループ長期経営方針策定」

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

・「グループマテリアリティ」

https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/

*なお、本リリースの取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）における2つの目標に貢献しています。



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**